

# クラウド・プロバイダに 聞くべき 8つの質問

---

ビジネスのデジタル・トランス  
フォーメーション実現のために



# トランസフォーメーションの先駆者へ

デジタル・トランസフォーメーションは、顧客ニーズやビジネス目標に対応しながらイノベーションや成長を加速させる上で重要ですが、現在はそのような認識が以前にも増して広まっています。企業はデジタル製品やデジタル・サービスを使って新たな機会を創出するために、クラウドを活用して顧客、パートナー、従業員と繋がる方法を定義し直しているところです。

適切なクラウド・プロバイダを利用すれば、ハイブリッド戦略、マルチクラウド戦略のいずれであっても、変化に迅速に反応してスケーリングし、レジリエンスを強化し、コストを削減し、場所を問わず展開できるようになります。

組織ごとに独自のトランസフォーメーション戦略が設定されますが、そのトランസフォーメーションの各セグメントにおいても、クラウドに向けた多数のルートに対応できる幅広いサービスが必要になります。

デジタル・トランസフォーメーション：クラウド・サービスの実装によってイノベーションを引き起こす全社的な変革を実施します。そのためには、製品やサービスを作成し、販売し、届けるための新たなアプローチ（パーソナライズした顧客エンゲージメントなど）が必要になります。

データ・トランಸフォーメーション：分析を強化することで、業績面で有意な改善をもたらします。業績は、企業の場合は増収、公共部門の場合は効率性、非政府組織の場合は影響力によって評価します。データ・トランಸフォーメーションでは通常、データ・インフラストラクチャ、データ・キャプチャ、データ分析での改善が組み合わされます。

資産の最新化：オンプレミスのデータセンターからクラウドへの大規模な移行のことであり、これにより組織はテクノロジー・インフラストラクチャの運用から解放されます。

あらゆるワークロードを大規模に処理できる、費用対効果が高くセキュリティに優れた高性能クラウド環境が形成されます。

## 質問

自社のデジタル・トランಸフォーメーションを推進するための能力と理解度を知るために、クラウド・プロバイダに次の8つの質問をしましょう。

- 01 クラウドでは、どのようなタイプのアプリケーションを実行できるか？
- 02 アプリケーションをクラウドに移行するためには何が必要か？
- 03 クラウド規模のデータの管理性を向上させるために、どのようなサービスを提供しているか？
- 04 ハイブリッド・クラウド・ソリューション向けにどのようなオプションがあるか？
- 05 セキュリティ侵害のリスクとコストを抑えながらセキュリティ対策を強化するため、クラウドでは何ができるか？
- 06 クラウドのコストを引き上げている要因をどのように可視化できるか？（予測できればさらに良い）
- 07 少ないコード量で迅速にアプリケーションを構築するために、どうサポートしてくれるか？
- 08 ビジネス・インテリジェンスと分析を使ってトランಸフォーメーションを強化するために、クラウドでどうサポートしてくれるか？



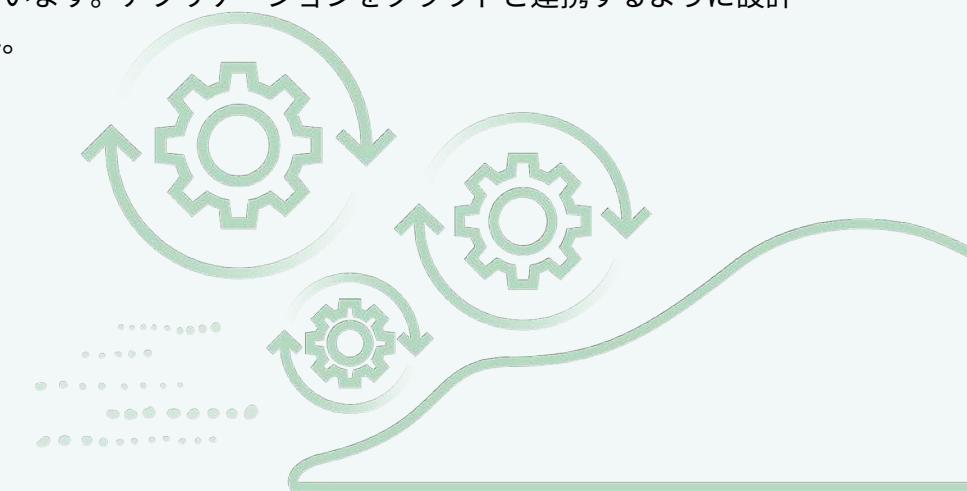
## 質問 01

### クラウドでは、どのようなタイプのアプリケーションを実行できるか？

次のアプリケーションをサポートしていて、より使いやすいクラウドを選ぶようにしましょう。

- ・エンタープライズ・アプリケーション（サプライ・チェーン管理、ERPなど）
- ・技術コンピューティング（高性能コンピューティング・シミュレーション、レポート、分析など）
- ・Webスケール・アプリケーション（E-Commerce、モバイル・サービスを含む）
- ・クラウド・ネイティブ・アプリケーション（ソーシャル・ネットワーク、動画ストリーミングなど）

クラウド・プロバイダは元々、自社のビジネスをサポートする目的でクラウドを開発しました。ほとんどのクラウド・プロバイダが、Webスケール・アプリケーションやクラウド・ネイティブ・アプリケーション用にスケール・アウト・ソリューションを構築することで新たな市場を築き、後でエンタープライズ・アプリケーションを取り込んできました。これに対して、オラクルのクラウド・コンピューティングに対するアプローチは、すべてのアプリケーションをサポートするようにクラウドを設計すべきという前提に基づいています。アプリケーションをクラウドと連携するように設計し直すのではありません。



## 質問 02

### アプリケーションをクラウドに移行するためには何が必要か？

アプリケーションは一般に、パブリック・クラウドへの移行がもっとも困難な対象だと見られています。

また、ほとんどのクラウド・プロバイダでは、ビジネス・アプリケーションの大幅な変更が必要になるか、あるいはパフォーマンスやレジリエンスが低下することになります。アプリケーションをクラウドに全面的に移行するために必要なコストと時間を計算して、その取組みがいかに複雑であるかをよく考えてみてください。

オラクルは、アプリケーションのコードは書き直さず、クラウドがアプリケーションに適応すべきものと位置付けており、すべてのアプリケーションに対してクラウド規模の利用モデルを設定しています。そのために、オラクルは従来のパブリック・クラウド・プロバイダの設計上の限界を克服した、中核的なイノベーションに重点的に取り組みました。それは、市場トップの経済性でサービスを自動化して配信する、パフォーマンスとコントロールを備えたシステムを構築することです。このイノベーションにより、アプリケーションを現状のまま簡単にクラウドに移行できるようになり、数か月単位ではなく数週の単位で環境全体を移行できるようになりました。

オラクルは、お客様が今どこにいても使用できるように、クラウド・プラットフォーム全体を設計しました。そのため、お客様はただワークフローを移動するのではなく、新たな価値を構築するために集中的に投資できます。



## 質問 03

# クラウド規模のデータの管理性を向上させるために、どのようなサービスを提供しているか？

クラウドの導入が進むにつれ、クラウド規模のオペレーティング・システムやデータベースの管理における複雑性から、IT運用コストも増加します。データベースのメンテナンスやチューニングが不完全であれば、トランザクションを妨げるようなデータ処理の中止、遅延など、ビジネスに多大なリスクをもたらす問題が発生して、それが意思決定の遅れにつながる可能性があります。理想的なデータベース構成を阻害する最大の単一要因となるのが、チューニング、問題の判定と修正、日常的な運用（ソフトウェアのパッチ適用、システム・メンテナンスなど）を行うスペシャリストの人数です。

オラクルは、クラウド・サービス管理の意味について見直しました。その結果、すべてのアプリケーション向けにインフラストラクチャのデリバリを自動化するというクラウドの新基準が誕生しました。これを実現するのが、Oracle Cloudに組み込まれた次の自律型サービスです。

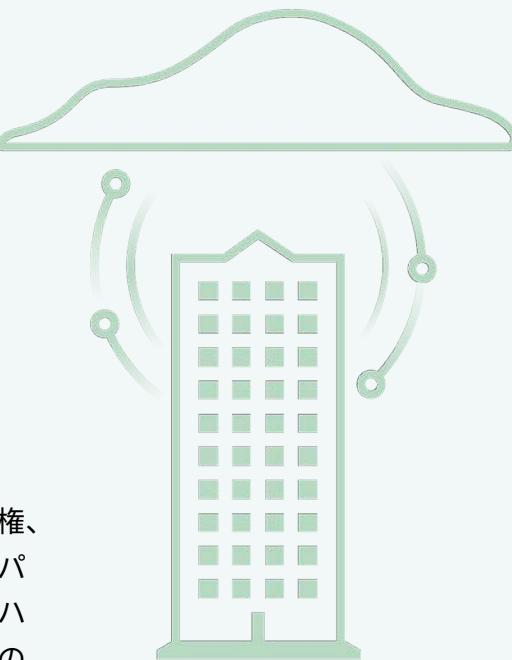
[Oracle Autonomous Linux](#) : Linux環境のパッチ適用と最適化のプロセスを自動化します。これには、中断や停止なくシステムを更新するプロセスが含まれます。

[Oracle Autonomous Database](#) : 機械学習を使って、データベースのチューニング、セキュリティ保護、バックアップ、更新など、これまでDBAが行っていた日常的な管理タスクを自動化します。従来のデータベースとは異なり、Oracle Autonomous Databaseは、これらを含むすべてのタスクを人が介在せずに実行できるため、手作業や人的エラーがなくなります。



## 質問 04

# ハイブリッド・クラウド・ソリューション向けにどのようなオプションがあるか？



これまで、多くの重要なアプリケーションについて、データ主権、セキュリティ、待機時間、現場での展開容易性の要件によって、パブリック・クラウドの導入が阻まれてきました。しかし現在は、ハイブリッド・クラウドとエッジ・コンピューティングがクラウドの利用方法を変革し、拡大させています。

世界中、あるいは必要となるその場所で、必要な規模とコントロールで運用できるクラウドを選んでください。オラクルでは、パブリック・クラウド、[Cloud@Customer](#)、[Dedicated Region Cloud@Customer](#)からテクノロジーを選択でき、展開の柔軟性において他に並ぶものはありません。Oracle Cloudは新しいリージョンの構築と展開のプロセスを自動化しており、世界中で一貫した規模とサービスに対応できます。また、データセンター内では、プライベートな専用リージョンを設けてすべてのサービスを提供できるようになっています。

オラクルのアプローチによって、専用リージョン、エッジ・コンピューティング、データ送信、高性能データベース・アプライアンスなどを含む新たなハイブリッド・モデルが実現され、そのすべてがセキュリティと性能を維持したままクラウドで制御されます。さらに、VMwareが完全にネイティブでサポートされ、高速マルチクラウド・サービスも[FastConnect](#)によってサポートされます。

## 質問 05

セキュリティ侵害のリスクとコストを抑えながらセキュリティ対策を強化するため、クラウドでは何ができるか？

アプリケーション、データ、ワークロードのクラウドへの移行を続けるうちに、クラウドのセキュリティ・リスクや、パブリック・クラウド・サービスの誤った構成に対処する必要性も高まります。



組込みのセキュリティ・コントロールの提供を中心としたセキュリティ・ファーストの設計原則で、セキュリティ対策を強化し、リスクを削減しましょう。オラクルは、データを保護し信頼を高めるために、[セキュリティは常時オン](#)にすべきだと考えています。

セキュリティ侵害が発生する理由はセキュリティ関連ツールが不足していたからではなく、セキュリティが複雑で、設計に組み込まれておらず、ワークロードの規模が拡大し始めた後に追加される場合が多いからです。

オラクルはこのエクスペリエンスをシンプルにして、機能が一部重複するツールを展開する必要も、個別に意思決定する必要もなく、セキュリティを確保できるように重点的に取り組んできました。自動化されたセキュリティでは、自動パッチ適用によって、複雑性を低減し、人的エラーを防止し、コストを削減できます。

オラクルなら、常時オンの暗号化およびユーザー行動の継続的監視によって、ビジネスを常に保護することができます。

## 質問 06

クラウドのコストを引き上げている要因をどのように可視化できるか？（予測できればさらに良い）

クラウド・プロバイダの価格モデルは複雑で、データ・エグレスの価格を高く設定することで、クラウドからのデータの移動に"課税する"ように設計されています。アウトバウンドのネットワーク帯域幅の料金が高すぎるため、マルチクラウドの使用料が法外なものになっています。さらに、エンタープライズ・アプリケーションに必要となるサービス（高IOPSのストレージ・サービスなど）の大幅な値上げもあり、顧客がクラウド・ネイティブの開始コストのための助成金を求める事態になっています。

一貫して低いコスト、かつ予測しやすいコストを求めるようしてください。[Oracle Cloudの価格設定](#)は、新規、既存を問わず、アプリケーションを運用するお客様共通のニーズに対応した価値を提供するものとなっています。オラクルは、データセンターやOCI以外のクラウド環境との相互接続に対して均一料金を設定しています。

オラクルのアウトバウンド帯域幅コストはAmazon Web Services (AWS) より80 %<sup>1</sup>も低く、また、データベース・ストレージなどの高I/OワークロードについてはAWSと比較して最大98 %<sup>1</sup>低くなっています。

事実、オラクルは、レジリエンス、可観測性、セキュリティを実現する多数の主要機能を追加コストなしで提供しています。オラクルは一貫して低いコスト、かつ予測しやすいコストを提示できるだけでなく、経済的に支えられた上で可用性、パフォーマンス、管理面のSLAを達成できる唯一のプロバイダです。

ぜひ[OCIクラウドの費用の見積り](#)をお試しください。

1. <https://www.oracle.com/jp/cloud/economics/>



## 質問 07

少ないコード量で迅速にアプリケーションを構築するために、どうサポートしてくれるか?



ソリューション開発用のソフトウェアを利用している組織は、最新テクノロジーに多額の投資をしています。適切な設計、ツール、言語は、ソフトウェア・ソリューションの収益性と持続可能性を左右するほんの一部の要素です。それぞれの選択が、時間、コスト、リソースの強力な三角形に影響を及ぼす可能性があります。

従来のアプリケーション開発プラクティスは時間がかかり過ぎます。そのため、クラウド・プロバイダのアプリケーション開発アプローチが、オープン・ソフトウェア、最新テクノロジー、ML駆動アプリケーションの開発をサポートしているかを必ず確認してください。[Oracle APEX Application Development \(APEXサービス\)](#)では、データ駆動型アプリケーションを構築してOracle Cloudに展開するためのフルマネージドのローコード・アプリケーション開発プラットフォームを提供しています。ビジネス・ユーザーやアプリケーション開発者が、コーディングよりも38倍速く、デスクトップやモバイル・デバイス用に、スケーラブルで保護された応答性の高いアプリケーションを構築できます。

オラクルはオープンソース・コミュニティにソースを提供しており、Oracle Databaseを使った高性能Pythonアプリケーションをサポートしています。[Oracle MySQL Database Service](#)では、開発者は世界でもっとも普及しているオープンソース・データベースを使って、クラウド・ネイティブのアプリケーションを迅速に開発、展開することができます。

これは、インメモリ・クエリー・アクセラレータである[HeatWave](#)が統合された唯一のMySQLクラウド・サービスであり、お客様はこのサービスを使って、オペレーショナル・データベースに対して直接分析を実行できます。

クラウド・プロバイダに聞くべき8つの質問

## 質問 08

ビジネス・インテリジェンスと分析を使ってトランスフォーメーションを強化するために、クラウドでどうサポートしてくれるか?

分析はもはやレポート作成とデータ可視化のためのツールではなく、あらゆるレベルでの意思決定を可能にする戦略的プラットフォームとなりました。計画的なデジタル・トランスフォーメーション構想であろうとパンデミックへの適応であろうと、トランスフォーメーションの実施期間中には、進捗を把握し、オプションを評価し、事実に基づく的確な意思決定を迅速に行うための、信頼できる分析ツールがあることが重要です。

組織は、安定性とレジリエンスのあるセキュアなアクセスによって情報を常に取得できる必要があり、クラウド・トランスフォーメーション構想の方向転換やスケーラビリティの要件に耐えられる分析ソリューションを求めています。ユーザーは自分でデータを詳しく調査して、機械学習（ML）モデルの出力を使い慣れた用語で理解できる必要があります。それこそが[Oracle Analytics](#)の提供するものです。すべての従業員が関連するデータにアクセスして、結果を評価するためのパターンや関係を特定し、迅速に意思決定する権限を持つことができます。

Oracle Analyticsは、他社製品とは異なり、オンプレミス環境、ハイブリッド環境、マルチクラウド環境のデータソースにわたり、構造化リポジトリと非構造化リポジトリにわたり、そして数多くのアプリケーションにわたり、分析ワークフロー全体を強化します。さらにOracle Databaseでは、複数のデータタイプやデータ・モデル（空間、グラフ、JSON、XMLなど）、アルゴリズム（機械学習、グラフ関数、統計関数など）、ワーク LOAD・タイプ（トランザクション・ワーク LOAD、分析ワーク LOADなど）がサポートされます。

Oracle Analyticsは、データソースへの接続、データの変換と準備、データ・モデルの作成、MLモデルとの相互作用から、従来型のダッシュボードと可視化機能を使った結果の調査および他のユーザーとの共有、モバイル・アプリ、自然言語検索、ナラティブまで、あらゆる機能に対応する包括的なソリューションです。



# Oracle Cloudを選ぶべき理由

Oracle Cloudは、ゼロからの変革を果たすために、サーバーレス・ファンクションから高性能エンタープライズ・ワークロードまで、あらゆるアプリケーションに対応するように設計された初の専用クラウド・アーキテクチャです。

Oracle Cloudは、オンプレミスからクラウドへ、そして他のクラウド・プロバイダからOracle Cloudへのシームレスな移行を支援しており、[Oracle Cloud Lift Services](#)を利用すれば、オラクルの新規のお客様も既存のお客様も、より広範囲のテクニカル・ツールやクラウド・エンジニアリング・リソースにアクセスして、追加コストなしで迅速にワークロードを移行できます。

Oracle Cloudは、強化された自動化機能と組込みセキュリティを活用して脅威を軽減することで、優れた移行と経済性をサポートし、信頼できる高性能プラットフォームを提供します。業界最先端のスケーラビリティと可用性を備えたOracle Cloudは、ガバナンス、コントロール、信頼性を一体化して提供し、さらにエンド・ツー・エンドのSLAによってそれを支援します。お客様は人工知能（AI）、機械学習（ML）、コグニティブ・コンピューティング、エッジ・コンピューティングなどのテクノロジーが搭載された最新のツールやリソースを利用することで、インサイトを加速させ、新たなイノベーションの手法を発見することができます。

オラクルのクラウド・エキスパートがお客様のすべての疑問にお答えします。

Oracle Cloudが変革をナビゲートできる仕組みについて解説しています。

[ITリーダー向けガイドを読む](#)



Oracle Cloud Infrastructureによるイノベーションを実現したお客様の成功事例をご覧ください。

[事例を見る](#)



Oracle Cloudでのアプリケーションの構築、テスト、展開をお試しください。

[無償で試す](#)



Oracle Cloud Infrastructureの公式サイト

<https://www.oracle.com/jp/cloud/>

オラクルのクラウド・ソリューションについての詳細は、  
日本オラクルまでお気軽にお問い合わせください。

<https://www.oracle.com/jp/corporate/contact/>

Copyright © 2021, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved. 本文書は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載されている内容は予告なく変更されることがあります。本文書は、その内容に誤りがないことを保証するものではなく、また、口頭による明示的保証や法律による默示的保証を含め、商品性ないし特定目的適合性に関する默示的保証および条件などのいかなる保証および条件も提供するものではありません。オラクルは本文書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書はオラクルの書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。OracleおよびJavaはOracleおよびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。

ORACLE